



1_連合会研修旅行（平成25年6月19日） 2_老人クラブ女性のつどい（平成25年7月19日） 3_シニアスポーツ大会（平成25年9月6日）
写真提供：白石市老人クラブ連合会

とし 幸せに齢を重ねるきっかけづくり 老人クラブ会員を募集しています

「健康でいること」それが何よりの社会貢献！ お互いを助け合い、活動とともにする仲間を随時募集しています。お近くの老人クラブが分からない方は老人クラブ連合会事務局までご連絡ください。

◎白石市老人クラブ連合会事務局 〒989-0231 白石市福岡蔵本字薬師堂28-2
社会福祉法人白石ひまわり（白石温泉薬師の湯内） ☎48-4126・48-1126



白石市老人クラブ連合会長
かわだ いちろう
川田 禎一さん

「老人クラブ」という名前を聞いて、「自分にはまだ早い」「面倒くさい」などと敬遠してしまう方もいるかもしれません。しかし、老人クラブは生きがいづくりや仲間づくりなどを行う魅力ある集まりです。加入をためらっていた方も、加入してみると楽しいと話す方がたくさんいます。あなたのこれからの笑顔にする出会

高齢者の活躍の場として
地域とともに歩んできました

老人クラブでは、趣味や運動、集いなどさまざまな活動を行って、健康づくりや生きがいづくり、仲間づくりに支え合っている。ここ数年は、皆さんの趣味が広がり、個人で過ごす人が増えたことや、退職した方々もまだまだ元気な再就職を希望する人が多くいることから、会員数が少しずつ減少しています。

「まだ早い…」「もう年だから…」と
ためらわずに
まずは一歩を踏み出してみませんか

白石市老人クラブ連合会の状況 （平成25年4月1日現在）

- クラブ数 33クラブ
- 会員数 1,502人
- 各クラブの活動例
 - ・健康づくり（ゲートボール・グラウンドゴルフなど）
 - ・趣味・教養活動（手芸・演芸・歌謡など）
 - ・各種研修会や研修旅行
 - ・お楽しみ会やお誕生会
 - ・各種ボランティア活動（公園清掃・子どもたちとの交流・施設訪問など）
- 連合会の行事例
 - ・クラブ大会（式典・作品展・演芸）
 - ・女性のつどい（演芸・講話）
 - ・指導者研修（講話など）
 - ・スポーツ大会（ゲートボール・グラウンドゴルフ・ペタンク）

～自分たちのまちは自分たちで守る～ 白石市消防団が内閣総理大臣から表彰を受けました！



1_内閣総理大臣から表彰を受けた白石市消防団長たちが、風間市長、勝又良白石消防署長（前列右から4番目）と記念撮影 2_平成25年6月9日に行われた白石市総合防災訓練で、救助訓練を行う地域住民と小原分団員たち 3・4_平成25年11月25日に行われた記念大会に全国から集結した消防団の代表者たち。大地震発生を想定した救助演技や放水演技を披露

11月25日、東京ドーム（東京都）で開催された「消防団120年・自治体消防65周年記念大会」の席上で、白石市消防団が内閣総理大臣から表彰されました。この催しは、東日本大震災での消防団の功績を称えとともに、震災の記憶や教訓を後世に伝え、復興・復興への決意を新たにすることが目的。この日は、全国の消防団員や婦人防火クラブなどの代表者約37,000人が集結し、宮城、岩手両県の12の消防団が表彰された後、消防実演で放水演技や救助演技などが行われました。

12月9日には、跡部敏団長と高橋鉄夫副団長、阿

部祥夫副団長の3人が市役所を訪れ、風間市長に表彰を報告。跡部団長は、「普段の活動の中でいただくことがある労いの言葉や、今回の内閣総理大臣からの表彰はとても励みになります。『自分たちのまちは自分たちで守る』という強い思いで、これからも消防団の活動に励みます」と話していました。

風間市長は、「震災発生直後、消防団員の皆さんの地の利を活かした活動はとても心強かったです。これからも市民の皆さんの安全・安心のために、お力添えをよろしく願います」と表彰を称えとともに、感謝の言葉を述べました。

～未来を担う子どもたちのために～ 家畜に給与できない牧草のまき直し作業を実施しています

平成23年3月に発生した福島第一原発事故の影響で、市内の牧草から放射性セシウムが検出され、家畜に給与できなくなるという被害がもたらされました。そのため、処分することのできない牧草ロールが大量に発生し、やむを得ず、畜産農家の敷地内に一時保管しています。

原発事故から2年10カ月が経過し、保管していた牧草ロールが損傷してきたため、当市では、公益社団法人みやぎ農業振興公社と業務委託契約を結び、家畜に給与できない牧草のまき直し作業を進め、3月までにすべての作業を終了する予定です。

※まき直しの費用は、東京電力(株)に賠償請求します。

